

## I 履修方法

### 1 卒業の要件

#### ① 修業年限

修業年限を4年とする。

4年間で卒業の要件に定める単位を修得できない場合は年限を延長することができる。

ただし、在学年数は、休学期間を除いて8年を超えることはできない。

#### ② 卒業までに修得すべき単位数

本学では授業科目を共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目の3つに区分しており、定められた履修方法に従って単位を修得し、この3区分を通して124単位以上を修得しなければならない。また、本学科では科目区分ごとに修得すべき最低単位数を設定している。

卒業単位数	科目区分	単位数	特記事項
124単位以上	共通教育科目	16単位以上	下に掲げる表の外国語科目から合計8単位以上を含めて修得すること。
	基礎教育科目	64単位以上	
	専門教育科目		

### 外国語科目に関する卒業要件

卒業単位数	科目区分	科目名	単位数	備考
8単位以上	共通教育科目	言語・情報科目群(言語リテラシー科目)	科目による	選択必修 (2単位以上)
	基礎教育科目	Oral Communication	2	選択
		TOEIC認定英語 I～IV	各2	単位認定
	専門教育科目	中国語概説	2	選択
		韓国語概説	2	選択
		英語で読む日本 I	2	選択
		英語で読む日本 II	2	選択
海外文化体験演習	4	選択		

(注) 1. 教職課程科目の[教職に関する科目]と[教科又は教職に関する科目(本学の開設授業科目)]、学校図書館司書教諭課程科目、図書館司書課程科目、博物館学芸員課程科目の単位を修得した場合、合計で上限20単位まで卒業に必要な単位数に含める。

2. 他大学との単位互換協定に基づき、西宮市大学交流センターにおいて単位を修得した場合、その単位は共通教育科目の単位として認定される。

### 2 取得できる学位 学士(日本語日本文学) ※ ( )内は専攻分野

### 3 履修登録単位数の上限(キャップ制)

履修した科目について十分な学修時間を確保し、学修した内容を真に身につけることを目的として、学科ごとに1年間及び1学期間に履修登録できる単位数の上限を年間50単位未満、1学期間25単位以下と定められており<sup>(注1)</sup>、これを「キャップ制」という。上限の単位数を超え

る履修登録は認められない。ただし、資格課程科目<sup>(注2)</sup>、学外実習科目<sup>(注3)</sup>、単位認定科目(例：西宮市大学共通単位講座等)、再履修科目、卒業非算入科目(卒業要件単位に含まれない科目)は、キャップ制の対象となる科目に含まれないため、上限単位数を超えて履修登録することができる。

1年間及び1学期間に履修登録できる単位数に上限があるため、1年次から確実に単位を修得していくことが大切である。履修便覧には、卒業までに、どのような科目をどれだけ履修しなければならないか、資格取得に必要な科目や履修に関する注意事項等が記載されている。履修便覧を十分に読み、1年次からしっかりした履修計画を立てて履修登録を行うこと。

なお、2年次以上で履修登録時までの累積GPA<sup>(注4)</sup>が3.00以上の学生は、当該学期については30単位まで履修登録することができる。

(注1) 通年科目は単位数を半分に分割し、学期ごとに加算される。

(注2) 教職課程科目のうち[教職に関する科目]・[教科又は教職に関する科目]、学校図書館司書教諭課程科目、図書館司書課程科目、博物館学芸員課程科目

(注3) 基礎教育科目・専門教育科目の科目形態欄に「外」と表記されている科目のことをいう。

(注4) 累積GPAとは、入学時からの履修登録した科目のうち、卒業非算入科目を除く科目の成績の平均を数値で表したものの。

#### 4 資格課程科目について

共通教育科目や基礎教育科目・専門教育科目とは別に、免許・資格を取得するために必要な講義や実習・演習といった授業科目を資格課程科目として開講している(下の①～④)。

- ① 教職課程科目 195頁参照
- ② 学校図書館司書教諭課程科目 239頁参照
- ③ 図書館司書課程科目 241頁参照
- ④ 博物館学芸員課程科目 242頁参照

#### 5 その他

学科資格は、各学科の基礎教育科目・専門教育科目一覧で確認すること。

## II 共通教育科目・基礎教育科目・専門教育科目

### 1 共通教育科目

共通教育は、歴史的に蓄積された思想や学問について広く基礎を学び、変化が激しい現代社会において的確に判断できる知性及び知識、技能の修得、真摯な学びと実践を通じ、思いやりの心と豊かな感性を持つ自律的な個人の確立を目指している。

さらに、専門教育との有機的な連携に努力し、卒業後、様々な分野で社会をリードする女性を育成することを目的としている。

この目的のために、以下に示された5つの「MW教養コア」について、バランスのとれた学修と研鑽に努力すること。

MW 教 養 コ ア	1	人文、社会、自然の各分野における人間理解に関する広い知識と学ぶ態度の修得
	2	心身の健康のための運動習慣の形成と生命の尊さや倫理に関する知識・態度の向上
	3	ジェンダーの視点の理解と主体的な判断力・行動力の獲得
	4	自らの生涯にわたるライフデザインに資するキャリア形成能力の育成
	5	異文化を理解し、グローバルな視点で活躍するためのリテラシーと基礎知識の修得

なお、共通教育科目は、年度ごとに一部変更があるので、当年度配布される『共通教育履修ガイドブック』に従って履修すること。

**【注意】** 共通教育科目は再試験を行わない。

#### 共通教育科目の構成

基 礎 教 養 科 目 群	人 文 科 学 科 目	言語、行動、習慣、知恵、思考さらには文学、歴史、芸術、哲学など人間の文化全般について学ぶ。それにより、人間とは何か、人間としていかに生きるべきか、人間の本質を考える力を養う。
	社 会 科 学 科 目	人間は一人ひとりが集まって集団・社会を形成し、その社会生活を営むために必要な生活環境・様式、制度などが作られた。それらの成り立ち・仕組みを学ぶとともにそれらに係る諸問題にも目を向け、よりよい社会を作り上げる力を養う。
	自 然 科 学 科 目	生命や身の回りの自然現象や自然の成り立ち、環境に着目し、その検証結果を整理することで、新たな法則や知見を導き出すプロセスを理解する。また自然観を広げ、真理を追求する上で必要とする客観的な考え方、論理的に展開する基礎を学ぶ。
	国 際 理 解 科 目	諸外国の文化、政治、経済の実情を知り、文化・価値観の多様性を学ぶ。また日本との比較などを通じ、国際協力や国際協調などグローバルな視点で物事・事象を捉える力を養う。
	現 代 ト ピ ッ ク 科 目	今まさに、国内のみならず全世界で話題となっている事象を取り上げ、様々な視点・観点からその概要を知り、考察を深める。
ジ ェ ン ダ ー 科 目 群	男女共同参画時代を迎え、過去から現在に至る性差に関わる諸問題について多面的に学修する。その中で、これまでの伝統的価値観である「女らしさ」「男らしさ」や性別役割分業観を問い直す。	
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 科 目 群	現在の自分を見つめ、自らの夢を実現するために、今何を学び、いかに自らの能力を伸ばすのかを考える。また社会人として必要なビジネスマナーやコミュニケーションスキルを磨き、企業の仕組みや職業などについての知識を学ぶ。	
言 語 ・ 情 報 科 目 群	言 語 リ テ ラ シ ー 科 目	英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、中国語、韓国語などの各国語について「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」技能など「言語リテラシー」を修得する。
	情 報 リ テ ラ シ ー 科 目	情報機器を使って、様々な学習活動や社会生活で活用するための知識・技能など「情報リテラシー」を修得する。
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 目 群	健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 科 目	健康の概念や健康を保つための知識（栄養・薬・病気の予防など）を学ぶとともに、運動（スポーツ）が心身に及ぼす効果・影響などを科学的に検証することにより、健康な身体を維持する考え方や方法を学ぶ。
	ス ポ ー ツ 実 技 科 目	様々なスポーツ実技を通して、その種目のルールや運動の特性を知り、身体を動かす楽しさや充実感を味わい、生涯にわたってスポーツを楽しむ能力と態度を養う。
大 学 ・ 初 年 次 ゼ ミ	学 び 発 見 ゼ ミ	主体的に学び、関わる力を養う。
単 位 互 換 協 定 科 目		西宮市大学共通単位講座で開講されるテーマについて学ぶ。

## 2 基礎教育科目・専門教育科目

### (1) 履修について

4年間で修得しなければならない単位数については、I履修方法で述べたとおりである。ここでは日本語日本文学科において、4年間で履修できる基礎教育科目・専門教育科目を示す。

履修は原則として所属学科において開講されている科目についてのみ認められ、他学科の開講科目を履修することは認められない。また、履修上の制限や履修上留意しなければならないことがあり、それらを(注)として示してある。その注意事項を十分確認して誤りなく履修していくこと。

### (2) 一覧表について

#### ア 科目番号について

科目番号は、その科目の学修の段階や順序、性質等を表し、教育課程の体系性が示されている。

(科目番号 付与ルール)

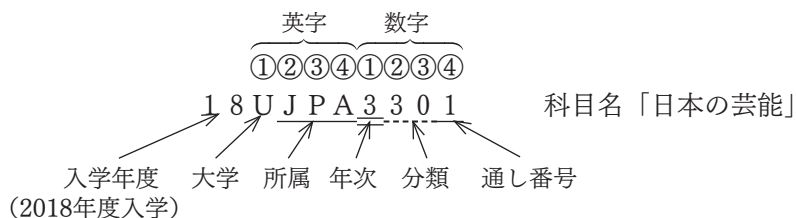
#### 【文学部 日本語日本文学科】

- 〈1〉 1科目につき1番号が付与されている。
- 〈2〉 先頭の番号は、入学年度の西暦の下2ケタを表す。
- 〈3〉 英字①は大学院博士(D)、大学院修士(M)、大学(U)、短大(J)、共通(G)等を表す。
- 〈4〉 英字②③④は所属(研究科、専攻科、学科、資格課程)及びコースを表す。
- 〈5〉 数字①は履修基準年次(学年)を表す。
- 〈6〉 数字②③は所属学科等内における分類を表す(下記の表を参照のこと)。
- 〈7〉 数字④は所属学科、分類内における通し番号を表す。

ただし、複数学年開講科目「海外文化体験演習」「日本語教育インターンシップ」を除く。

分類	分類番号
日本語類	日本語学：10 日本語教育：11
日本文学類	日本文学：20、21 漢文：22 国語教育：23
日本文化類	文化一般：30 書道：31
コミュニケーション類	表現：40 情報：41 外国語：42
上記の類別に当てはまらないもの「00」 ※初期演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、卒業論文(卒業制作)	

(例：文学部 日本語日本文学科 3年次開講 日本文化類 文化一般「日本の芸能」の科目番号)



#### イ 科目形態欄について

科目形態欄の科目形態は下記の意味を示す。

実	実験・実習・実技科目
外	学外実習科目
論	論文・研究等

ウ 科目必修欄について

必	必修科目（この科目の単位を修得しなければ卒業できない）
---	-----------------------------

エ 資格欄について

表中、資格欄の記号は下記の意味を示す。

（中高国）	中学校教諭一種免許状（国語）と高等学校教諭一種免許状（国語）取得のための科目
（中国）	中学校教諭一種免許状（国語）取得のための科目
（高書）	高等学校教諭一種免許状（書道）取得のための科目
（日）	日本語教員資格取得のための科目

オ 開講期について

表中の各年次、前・後・特別学期欄の下記印はその学期に開講されることを表す。ただし、不規則な開講となる場合がある。また、開講科目、開講期については変更されることがある。

○	週1回開講
◎	週2回開講

# 文学部 日本語日本文学科

## ◆ 基礎教育科目

科 目				資格	第1年次			第2年次			第3年次			第4年次		
科目番号	名 称	単位数	形態 必修		前期	後期	特別 学期	前期	後期	特別 学期	前期	後期	特別 学期	前期	後期	特別 学期
18UJPA	1001	初 期 演 習	2	必		○	○									
	1201	古 文 入 門	2	必	(中高国)(高書)	○	(○)									
	1221	漢 文 入 門	2	必	(中高国)(高書)	(○)	○									
	1401	日 本 語 表 現 入 門	2			○										
	2401	日 本 語 表 現 演 習 I	1	必	(中高国)			○								
	2402	日 本 語 表 現 演 習 II	1	必	(中高国)				○							
	1411	情 報 リ テ ラ シ ー I	2	必		○										
	1412	情 報 リ テ ラ シ ー II	2	必			○									
	1421	Oral Communication	2			◎										
	—	—	TOEIC認定英語 I	2												
—	—	TOEIC認定英語 II	2													
—	—	TOEIC認定英語 III	2													
—	—	TOEIC認定英語 IV	2													

## ◆ 専門教育科目

18UJPA	1101	日 本 語 学 概 論 I	2	必	(中高国)(日)	○										
	1102	日 本 語 学 概 論 II	2	必	(中高国)(日)		○									
	2101	音 声 ・ 音 韻 論	2		(中高国)(日)			○								
	2102	語 彙 ・ 意 味 論	2		(中高国)(日)				○							
	3101	文 法 ・ 文 体 論	2		(中高国)(日)					○						
	3102	文 字 ・ 表 記 論	2		(中高国)(日)						○					
	4101	談 話 研 究	2		(日)								○			
	2103	日 本 語 学 文 献 講 読 I	2					○								
	2104	日 本 語 学 文 献 講 読 II	2						○							
	3103	日 本 語 史 I	2		(中高国)(日)					○						
	3104	日 本 語 史 II	2		(中高国)(日)						○					
	4102	日 本 語 学 特 講 I	2		(日)								○			
	4103	日 本 語 学 特 講 II	2		(日)									○		
	1103	社 会 言 語 学	2		(日)	○										
	2105	言 語 学 I	2		(日)			○								
	2106	言 語 学 II	2		(日)				○							
18UJPA	1111	日 本 語 教 育 学 入 門	2		(日)	○										
	2111	日 本 語 教 授 法	2		(日)			○								
	2112	日 本 語 教 材 研 究 I	2		(日)				○							
	3112	日 本 語 教 材 研 究 II	2		(日)						○					
	3111	日 本 語 教 授 法 実 習	1	実	(日)					○						
	3113	日 本 語 教 育 史	2		(日)							○				
	4111	日 本 語 教 育 特 講	2		(日)								○			
	1112	言 語 発 達 論	2		(日)		○									

科 目					資 格	第 1 年次			第 2 年次			第 3 年次			第 4 年次		
科目番号	名 称	単 位 数	形 態	必 修		前	後	特	前	後	特	前	後	特	前	後	特
						期	期	別	期	期	別	期	期	別	期	期	別
18UJPA	3114	言 語 と 心 理	2										○				
	1113	異文化間コミュニケーション	2						○								
	4112	多文化共生論	2													○	
	3115	日本語教育インターンシップ	2	外										○			
18UJPA	1202	日本古典文学概論	2		必	(中高国)(高書)	○										
	1203	日本近代文学概論	2		必	(中高国)(高書)	○										
	1204	日本古典文学史	2			(中高国)(高書)		○									
	1205	日本近代文学史	2			(中高国)(高書)		○									
	2201	上代文学講読Ⅰ	2			(中高国)(高書)			○								
	2202	上代文学講読Ⅱ	2			(中高国)(高書)				○							
	2203	中古文学講読Ⅰ	2			(中高国)(高書)			○								
	2204	中古文学講読Ⅱ	2			(中高国)(高書)				○							
	2205	中世文学講読Ⅰ	2			(中高国)(高書)			○								
	2206	中世文学講読Ⅱ	2			(中高国)(高書)				○							
	2207	近世文学講読Ⅰ	2			(中高国)(高書)			○								
	2208	近世文学講読Ⅱ	2			(中高国)(高書)				○							
	2209	近代文学講読Ⅰ	2			(中高国)(高書)			○								
	2211	近代文学講読Ⅱ	2			(中高国)(高書)				○							
	3201	上代文学研究Ⅰ	2									○					
	3202	上代文学研究Ⅱ	2										○				
	3203	中古文学研究Ⅰ	2									○					
	3204	中古文学研究Ⅱ	2										○				
	3205	中世文学研究Ⅰ	2									○					
	3206	中世文学研究Ⅱ	2										○				
	3207	近世文学研究Ⅰ	2									○					
	3208	近世文学研究Ⅱ	2										○				
	3209	近代文学研究Ⅰ	2									○					
	3211	近代文学研究Ⅱ	2										○				
	1206	児 童 文 学 論	2						○								
	3212	現代文学論Ⅰ	2									○					
3213	現代文学論Ⅱ	2										○					
4201	日本文学特講Ⅰ	2													○		
4202	日本文学特講Ⅱ	2														○	
18UJPA	2221	漢文学講読Ⅰ	2			(中高国)(高書)				○							
	2222	漢文学講読Ⅱ	2			(中高国)(高書)					○						
	3221	東アジア思想文学Ⅰ	2								○						
	3222	東アジア思想文学Ⅱ	2									○					
18UJPA	2231	国語教育実践研究Ⅰ	2								○						
	3231	国語教育実践研究Ⅱ	2									○					
	3232	国語教育実践研究Ⅲ	2										○				
	4231	国語教育実践研究Ⅳ	2											○			

科 目					資 格	第 1 年次			第 2 年次			第 3 年次			第 4 年次		
科目番号	名 称	単位数	形態	必修		前期	後期	特別学期	前期	後期	特別学期	前期	後期	特別学期	前期	後期	特別学期
18UJPA	1301	阪 神 間 の 文 化	2			(日)	○										
	2301	文 化 交 流 史	2			(日)			○								
	3301	日 本 の 芸 能	2								○						
	3302	日 本 の 伝 統 文 化	2			(日)						○					
	4301	日 本 の 現 代 文 化	2			(日)										○	
	4302	知 的 財 産 論	2												○		
18UJPA	1311	書 道 I	2			(中国)(高書)	○										
	1312	書 道 II	2			(中国)(高書)		○									
	2311	書 道 III	2			(高書)			○								
	2312	書 道 IV	2			(高書)				○							
	3311	書 道 史 I	2			(高書)					○						
	3312	書 道 史 II	2			(高書)						○					
	4311	書 論 ・ 鑑 賞 学	2			(高書)								○			
18UJPA	1402	身 体 表 現 法	2					○									
	2403	プレゼンテーション技法	2						○								
	2404	情 報 デ ザ イ ン	2							○							
	3401	文 芸 創 作	2									○					
18UJPA	2411	コンピュータ概論	2							○							
	2412	言語データ処理	1	実							○						
	3413	情報検索法	2									○					
	3411	情報処理特論 I	2								○						
	3412	情報処理特論 II	2									○					
	4411	言語情報・文献管理特論 I	2											○			
	4412	言語情報・文献管理特論 II	2												○		
18UJPA	1422	中 国 語 概 説	2			(日)	○										
	1423	韓 国 語 概 説	2			(日)		○									
	2421	英語で読む日本 I	2			(日)			○								
	2422	英語で読む日本 II	2			(日)				○							
	1424	海外文化体験演習	4	外		(日)		○*									
18UJPA	3001	演 習 I	2		必							○	○				
	4001	演 習 II	2		必									○	○		
	4002	卒業論文(卒業制作)	4	論	必									○	○	○	

(注) 1. (○)の学期にも開講される場合がある。

2. ※「海外文化体験演習」が2・3月に実施される場合、卒業学年では履修できない。

#### TOEIC認定英語 I・II・III・IVについて

- ・入学以前又は以後に、次の表に定めるTOEICスコアを取得した者は、その程度に応じて単位（一部又はすべて）を基礎教育科目として認定する。成績評価は「認」と表示する。
- ・毎年度後期の最終授業日まで、外国語教育推進室で配付する「単位認定願」に、TOEICスコアの写しを添えて外国語教育推進室へ提出すること。



スコア	科目名				単位数	評価
500～599	TOEIC認定英語 I				2	認
600～699	TOEIC認定英語 I	TOEIC認定英語 II			4 (各2)	認
700～799	TOEIC認定英語 I	TOEIC認定英語 II	TOEIC認定英語 III		6 (各2)	認
800～	TOEIC認定英語 I	TOEIC認定英語 II	TOEIC認定英語 III	TOEIC認定英語 IV	8 (各2)	認

(注) 単位認定後、さらに上位のスコアを取得した場合は、認定されていない科目のみ認定される。

◆ 日本語教員養成科目

文化庁ガイドライン		本学の開設する科目	単位数	必修	選択		
社会・文化に関わる領域	社会・文化・地域	異文化間コミュニケーション	2	4	10		
		多文化共生論	2				
		文化交流史	2				
		英語で読む日本 I	2				
		英語で読む日本 II	2				
		海外文化体験演習	4				
言語に関わる領域	言語	日本語学概論 I	2	2	16		
		日本語学概論 II	2	2			
		音声・音韻論	2	4			
		語彙・意味論	2				
		文法・文体論	2				
		文字・表記論	2				
		日本語史 I	2				
		日本語史 II	2				
		言語学 I	2				
		言語学 II	2				
		中国語概説	2				
		韓国語概説	2				
	言語と社会	言語と社会	社会言語学		2	4	6
			談話研究		2		
			阪神間の文化	2			
			日本の伝統文化	2			
			日本の現代文化	2			
	言語と心理	言語と心理	言語発達論	2	2	8	
			言語と心理	2			
日本語教育特講			2				
日本語学特講 I			2				
日本語学特講 II			2				
教育に関わる領域	言語と教育	日本語教育学入門	2	2	2		
		日本語教授法	2	2			
		日本語教材研究 I	2	2			
		日本語教材研究 II	2				
		日本語教授法実習	1	1			
		日本語教育史	2	2			
		日本語教育インターンシップ	2	2			
計			71	25	46		

(注) 日本語教員の資格を得ようとする者は、本学（日本語日本文学科）の卒業要件を満たし、かつ上表から必修を満たして35単位以上修得すること。